

コロラド州立大学 (CSU) (USA : コロラド)

本間睦美 (栃木県日光市)

滞在期間 : 2019年1月14日~3月10日

活動場所 : アメリカ合衆国コロラド州立大学 (CSU)

滞在场所 : コロラド州フォートコリンズ市

1. 大学の授業について

新居先生の1年目、3年目のクラス、キム先生の1年目の2クラス、コリンズ先生の2年目のクラスに出させていただきました。



1年目の学生たちと

提出物の返却や会話のデモンストレーション、問題練習やグループワークの際の会話の相手や机間指導などを行いました。特に、学生同士のペアワークの練習の時の読みや発音の間違いを訂正したり、文字の間違いを指摘したりすることに力を注ぎました。学生が素直に受け入れてくれるのがうれしくもあり、楽しくもありました。また、クラスによっては、宿題などのチェックのお手伝いもさせていただきました。

私の趣味である俳句の担当を依頼され、1年生の日本文化のワークショップで実施しました。俳句についてのスライドをパソコンで作成し、俳句の説明をした後で実際に学生に俳句を作ってもらいました。学生は真剣に話を聞き、思い思いに自分らしい俳句作りをしていました。

折り紙のワークショップも担当することになり、その歴史をビデオで見てもらった後、実際に箱、風船、鶴を折ってもらい、最後にはくす玉作りもしました。

着物の着付けのデモンストレーション (ベークン先生と講師) のお手伝いをしたり、茶道のワークショップに同行して、貴重な体験をすることができました。

2. 個別指導

滞在の後半には、授業の理解が難しい学生への個別支援もしました。学生によっては、個別に指導を受けることに抵抗があるとも聞きましたが、私が関わった学生は日曜日であっても大学に来て個別指導を受けてくれました。滞在がもっと長ければ、意欲のある学生には、もっと支援をしてあげたかったと思います。

3. 授業以外の活動

(1) 花金チャット (隔週緊張日)

コリンズ先生が、中心に行っている日本語を話す集まりにも参加しました。各国から集まっている学生が、それぞれの国の文化の違いなどを話し合うのでとても参考になりました。話題は各国の生活習慣の違い、学生に人気のあるアニメやゲームのことなど、多彩で興味深いものでした。金曜日の授業後に集まって日本語を話そうとするのですから、とても意欲的な学生が多いと思いました。

(2) ジャパンカップミーティング

4月20日開催予定のジャパンカップに向けての準備ミーティングが、1月から毎週木曜日に行われ、私も参観しました。

ジャパンカップは、コロラド州内の大学の日本語を学ぶ2年生の学生たちの競技会で、CSUはいつも上位の成績を誇っているとのこと。出場経験のある先輩学生が、今年度参加する2年生に対して、スライドを用いて一生懸命に指導をしていました。先輩後輩の学生は、同じく日本語を愛しての学習をする仲間であり、その結びつきをとても強く感じました。このような縦のつながりが、よい伝統として継承されていることを改めて感じさせられました。

4. 生活面

定宿であるアパートでは、一人部屋 (番号はD-3) で大学から近く、調理器具など揃っており快適に過ごすことができ生活の不便はありませんでした。入居してすぐに洗濯乾燥機を入れてくださいましたので、冬なので暖房があっても乾きにくい衣料も多くとても助かりました。

買い物では、経験者の方がお馴染みのホールフーズやキングスーパーを利用しました。無料のバスのマックスを利用すれば、セーフウェイやトレーダージョーズ、フットヒルズモールにも行けます。マックスにはとてもお世話になりました。

アパートから見える、マルベリーストリートとメイソンストリートの角に、「coming soon」と、長いこと開店準備中だった「ラッキーズ・スーパー」が、やっと私が日本に発つ直前の3月6日に開店しました。歩いて2,3分の距離ですので、次にいらっしゃる方は買い物が格段に便利になると思います。

一人暮らしということもあり、あまり外食には出かけずアパートで自炊することが多かったです。学校へも、昼食のサンドイッチやおにぎりなどを持参しました。葭江さんご推薦のニューヨークピザは、なくなっ

ていて残念でした。フィリーズは、値段も手頃でおいしかったです。大学近くの寿司店では、味噌汁のお椀の中にレンゲが入って出てきたのにまず驚きました。巻き寿司全体に衣を付けて揚げた感じの「天ぶら寿司」みたいなものには再度びっくりさせられました。異文化を体験した実感がしました。

ベーケン先生には個人的にもお世話になり、デンバー行きに同行してくださったり、食事をご一緒させていただいたりしました。長年 WSC の方がお世話になっているデイニー千鶴子さんにも、お世話になりました。到着後すぐに連絡があり、街の近郊をドライブしてくださったり、買い物に付き合ってくださいたり、いろいろと不慣れな私を気遣って、助けてくださいました。また、ご自宅にも招待してくださいたり、午後のお茶を楽しませていただきました。いずれもとてもありがたかったです。

5. 大学内での生活

大学の中心部にある、ローリー学生センター (LSC) のみならず、学内のあらゆるところにテーブルや椅子が設置されており、いつでもどこでも休憩や食事をすることができます。誰に気兼ねすることもなく、持参したサンドイッチを広げて食べたり、休憩したり、読書をしたりしました。特に LSC 内には、暖炉のあるラウンジがあり、寒い日は暖かい室内でゆったりとソファに座り、暖炉の火を眺めながら読書することもありました。

LSC にはフードコートがあり、昼食時はいつも学生で混み合って長蛇の列ができていました。ブリトーやサンドイッチ、中華料理などがあり、時々利用しました。学内にはいわゆるバイキング形式のビュッフェのカフェテリアもあり、食べ放題でいろいろな食べ物、飲み物、デザートが食べられます。いつも利用していたら、体重が心配ですが…。

滞在中の 2 月 11 日、日本では建国記念日ですが、CSU では創立記念日ということで、大学の絵とロゴ入りの創立記念クッキーが学内では無料で配られています。バレンタインデーにも、ドーナツの無料配布があったりして、楽しい雰囲気を味わいました。

3 月 2 日には、LSC でワールドユニティフェアが行われました。各国のブースが設けられ、民族衣装を着た留学生たちが自国の PR をしたり、自国の料理を販売したりしていました。日本のブースでは、箸でのスナックつまみコンテストやカレーライスの販売を行っていました。

6. 英会話学習

アギービレッジで、シニアのボランティアの方によって行われている英会話教室に毎週月曜日に参加しました。さまざまな国からこの町に来ている外国人が、少しでも英語を話せるようになりたいと参加していました。能力別にいくつかのグループに分かれて、教えていただけていました。

ここで講師をされているバーバラさんが、個人教授をしてくださることになり、週に 2 回アパートに来ていただいて有料個別指導をしていただきました。

7. 小学校訪問

ベーケン先生のご主人ティムさんが、日本語を教えていらっしゃる Dunn 小学校の日本語クラスで交流をさせていただきました。



DUNN 小学校での手遊び

放課後のクラブのようなもので、1 年生から入っているクラスで、1 時間ほどの短い時間でしたが、日本の手遊び歌をしたり、折り紙をしたりして一緒に遊びました。

この小学校は、低学年の時から、外国語を学習したり異文化に触れたりすることを重要視しているそうです。お迎えに来ておられる保護者の方も、日本や日本語にとっても理解をお持ちのようでした。

8. 感想

2 か月というのは、私にとって長期の単独滞在でしたので、多少不安はありました。が、CSU では先生方によくしていただき、学生たちとも少しずつ慣れ、毎日充実した日々を過ごすことができました。渡米前に仕事をしていた日本語学校での経験や日本文化の知識が、多少なりとも役に立ったのかなと思っています。

英語に関しては、発音のせいか通じなかったり、相手の言葉を聞き取れなかったりと、自分の英語力を再認識させられる経験をたくさんしました。どの体験一つをとっても、私にとってはかけがえのない思い出になり、貴重な宝となりました。この経験をこれからの人生にも生かしていきたいと思います。是非とも多くの方々にチャレンジしていただけるといいのではないかと思います。

このような貴重な機会を与えてくださった WSC の皆様、授業に参加させてくださった CSU の関係者の皆様、そして滞在中私に関わってくださったすべての皆様に心から感謝申し上げます。